

② 1986 年、新しい施設が出来上がり、杉十小は、ここ和田 3 丁目に引っ越してきました。

③ ここは、震災時等に地域の誰もがどこからでも避難できるように作られたまわりに門も塀もない

学校防災公園  
という重要な役割を担っています。

④ 地域に開かれた校舎の中でも子ども達が落ち着いて勉強し、安心して生活が送れるように保護者や地域住民が協力し、杉十小の子ども達の安全を見守り、応援しよう！

⑤ 杉十小の周囲に花壇を作り、大勢の地域の方の目を向けてもらい、PTA 全員が当番で手入れをすることで子ども達を見守る意識を高めていくことになりました。目にしてくださる方々が和めるよう杉並区の支援で、四季折々のきれいな花壇を作る努力をしています。

① 杉十小は創立以来 50 年間、現在のセシオン杉並がある梅里 1 丁目にありました。環七の公害等から杉十小の子ども達を守ろうと、学校関係者や地域住民、杉並区と一緒に考えて、蚕糸試験場跡地に緑いっぱいの公園と一体になっている学校で、防災拠点として開かれた『学校防災公園』を作ることになりました。

⑥ 2 年生の生活科の授業で植物や命の尊さを教わるし、子ども達と保護者も一緒に関わり、学ぶことができたなら、嬉しいな。

そんな PTA 役員の想いを受けて...

⑦ 2 年生児童が授業中に PTA(まごころさん)と花の植え替えをすることになりました。『杉十フレンズ(学校支援本部)』や防犯キャンペーンの時には杉並警察署、防犯協会・母の会等も参加し、応援の輪が広がりました

⑧ 『蚕糸の森研究所』の誕生！2 年生の児童が花壇の研究をしています。子ども達がチームで考え、工夫し、見てくださる方へのメッセージを込めてそれぞれデザインし、花を植えています。

これからも『コミュニティ・スクール』として

⑨ 学校・保護者・地域住民が協働し、児童も参加して、みんなで安心安全なコミュニティを作って、蚕糸の森公園をとりまく杉十小地域が心豊かな人々を育てよう地域であり続けるよう願います。